

キャラクター名
音泉 魂子

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー		ワークス	歌手	カヴァー	指暴力団アイドル部門
	エンジェルハイロウ					
オプション			年齢	16	性別	女
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	37	%
出自	37 有名人	経験	76 小さな名誉	邂逅	50 同志	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	32
感覚	5	1	0	8	1	15	(非装備時)	32
精神	2	0	0			2	戦闘移動	37
社会	0	0	1			1	全力移動	74

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	9		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術: 神楽	4		知識: 料理	6		情報: ウェブ	1	
運転:			芸術: 歌唱	4		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
メイジジャケット		5	-1	-	(RC) または (交渉) のエフェクトを組み合わせたエフェクトの侵蝕率合計を-1(最低1)する

所持品	
コネ:UGN幹部	
エンブレム:ドロップアウト	
エンブレム:貴種の接吻	
エンブレム:ギャランティプラス	

合計装甲: 5 合計回避: -1

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
前世記憶	P	N		
印田 インド	P 親近感	N 隔意		
リオ・フォーティア	P 庇護	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
光と闇の目	1	(4)	常時	至近	自身	自動		
効果: 隠密状態のキャラクターをメジャーアクションの対象にすることができる								
血色の花嫁	1	3	セットアップ	至近	単体	自動		
効果: ラウンド中、ブラム=ストーカーのエフェクトで減少するHPIは代わりに対象が減らす。対象はこの効果を拒否可能								
ブラッドコントロール	5	2	マイナー					
効果: そのメインプロセス中、ブラムのエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+[Lv]個する								
オプティカルレンズ	2	3	マイナー					
効果: エンハイのエフェクトを組み合わせた攻撃のダメージに+【感覚】する シーンLv回								
紅の刃	1	1	メジャー	視界	-	RC		
効果: ダメージ+[Lv+1]の射撃攻撃を行う								
鮮血の網	1	2	メジャー	視界	範囲(選択)	RC		
効果: ダメージを与えた場合、硬直を付与する シーンLv回								
赫き踊り手	1	3	メジャー		-	S	リミット	
効果: ダメージに+【感覚】する								
光の手	1	2	メジャー		-	RC		
効果: <RC>を【感覚】で代用判定できる								
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	3	2	メジャー		-	S		
効果: C値-[Lv]								
飢えたる瞬き	1	5	オート	至近	自身	自動	120,飢餓	
効果: 行動後に使用できる。自分は未行動になる。ただし、そのラウンド中、あらゆる判定ダイス-5個する シナリオ一回								
水壁	1	10	オート	視界	単体	RC	100	
効果:								
リフレックス:エンジェルハイロウ	2	2	リアクション	-	-	S		
効果: C値-[Lv]								
日常の代行者	★							
効果:								

【設定】
死んだ—
音泉魂子は確かにとある白髪の暗殺者に殺害された。しかし確かに死にゆくはずだった彼女はなんと、殆ど同じ姿で別の世界へと転生してしまっていた。一見して和風の家に転生した魂子は普通に能力を意識することなく、健康的かつ怠けていても親が養ってくれる幸せな家庭で幸せに生きてきた。元の世界では祖父に厳しく扱われて怠ける暇もなかった魂子にとって、実の親が可愛がってくれる環境のなんと良かったことか。しかし、魂子が生まれた家庭は実は悪魔の家系だった。両親はいずれ悪魔の力に目覚めると思っていたのだが、魂子はいつまでも人間として生きている。このままではいずれ自分達の後を継ぐ者として育てることも叶わないので、仕方なく自分の血と魂子の血を混ぜて覚醒の儀式を行おうとした。魂子も「偶に人間に力を貸す以外は食っちゃ寝生活なんて最高じゃーん」と思い、それを了承したが—
どうにも上手く行かなかった。それもそのはず、魂子に流れている血は悪魔のそれではなく、半分人間半分神様の血である。悪魔になれるはずもなく、両親は泣く泣く(育てた甲斐がなかった)魂子の家から追い出す羽目になった。ごねでもどうしようもなく、これからどうしようかと思っていたところで指暴力団でアイドルをやらないかと誘われて今に至る。悪魔になれなかったものの、混じってしまった悪魔の力のせいで、戦うときにはそれらしい見た目になってしまうのが悩みどころ。因みに衣装はプロデューサーにキャラ付けついでに渡されている

指暴力団を暴力団だとは思っていないが、訳の分からないところだとは思っている。アイドルやるのは嫌いじゃないけど、絶叫マシンのレビューや食レポは好きではない。ただ、滅茶苦茶に感覚が鋭いため舌は肥えている。なので辛い物や苦いもの、不味いものは天敵。地獄食堂もJもできるなら避けたいという思いでいっぱい

マイナー 『封神退魔の血脈』《ブラッドコントロール》5+《オプティカルレンズ》2 対象:自身 侵蝕率:5
効果:メインプロセス中、ダイス+[Lv]個し、ダメージに+【感覚】する シーンLv回

